

2022年度 新入生アンケート 調査報告

2022年6月

京都精華大学 学長室グループ

2022年度 新入生アンケート調査概要

1. 調査目的

新入生の入学段階での指向や学修状況を把握して、今後の本学の教育や学生支援の質向上を図るためのデータとして活用する。

2. 調査対象

2022年度4月入学の学部生 1,032名

3. 調査期間

2022年4月1日（金）10：00～4月24日（日）23：59

4. 調査方法

教学システム（セイカ・ポータル）のWEBアンケートフォームより実施

5. 回答者の構成比率

学部	学生数	回答者数	回答率	構成比率	回答者 構成比率
国際文化	159	151	95.0%	15.4%	15.4%
メディア表現	185	180	97.3%	17.9%	18.3%
芸術	116	105	90.5%	11.2%	10.7%
デザイン	255	242	94.9%	24.7%	24.6%
マンガ	317	304	95.9%	30.7%	31.0%
全体	1,032	982	95.2%	100.0%	100.0%

	2022	2021	2020	2019
対象者数	1,032	1,059	1,020	897
回答者数	982	1,023	991	384
回答率	95.2%	96.6%	97.2%	42.8%

2022年度 新入生アンケート 集計結果

【質問1】 本学を知ったきっかけを教えてください。

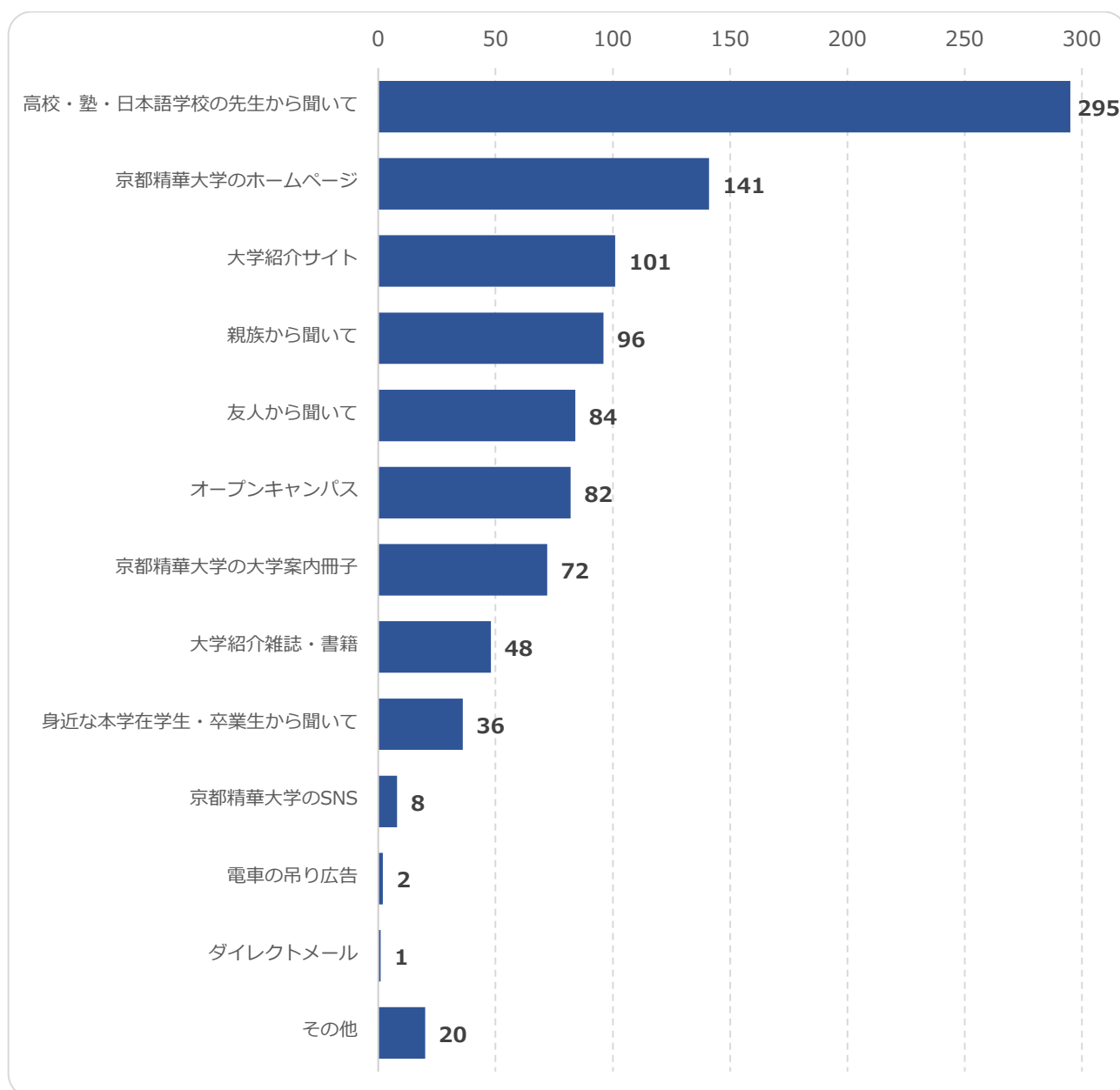
「高校・塾・日本語学校の先生から聞いて」が昨年に続いて最も多く、次いで「京都精華大学のホームページ」、「大学紹介サイト」の順。

その他の回答は、

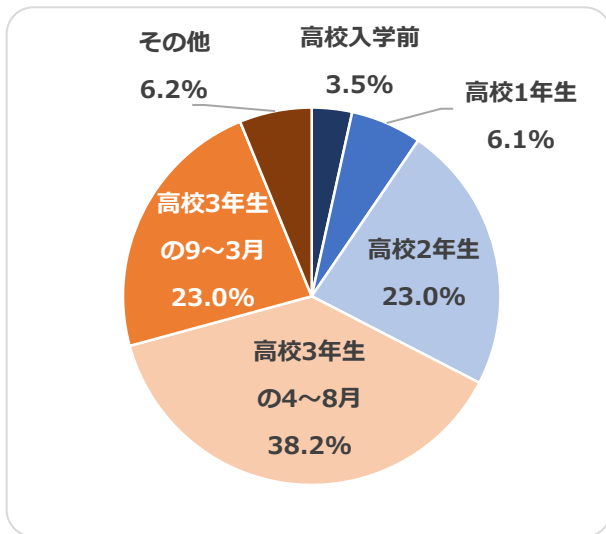
「大学・学部・学科の検索で」（7名）「合同説明会」「卒業生のSNS」「模試」「大学博覧会」

「テレビでみて」「教員の著作」「卒業生の作品」（各1名）

などがあった。



【質問2】 本学を志望したのはいつ頃でしたか。



「高校3年生の前半」が、最多であった。次いで、「高校3年生の後半」「高校2年生」の順。

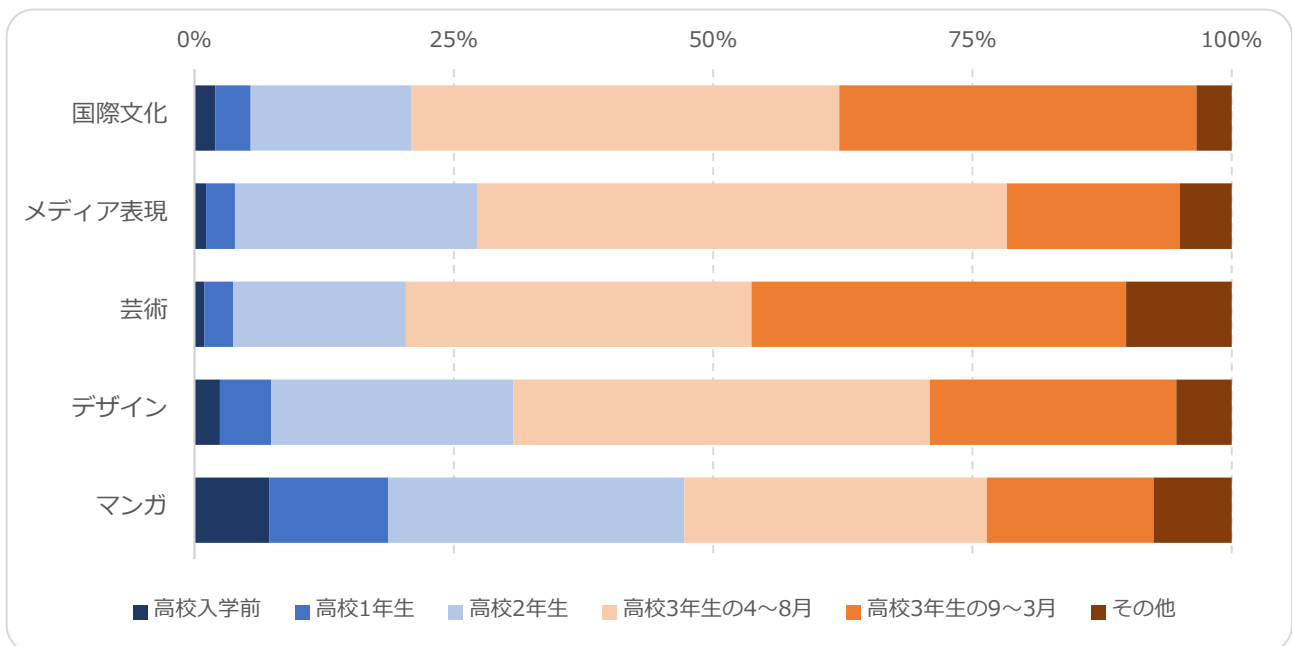
その他の回答は、

「高校卒業後」「大学在学中」「大学卒業後」

「日本語学校在学中」「浪人の時期」

などがあった。

以下は、学部別回答

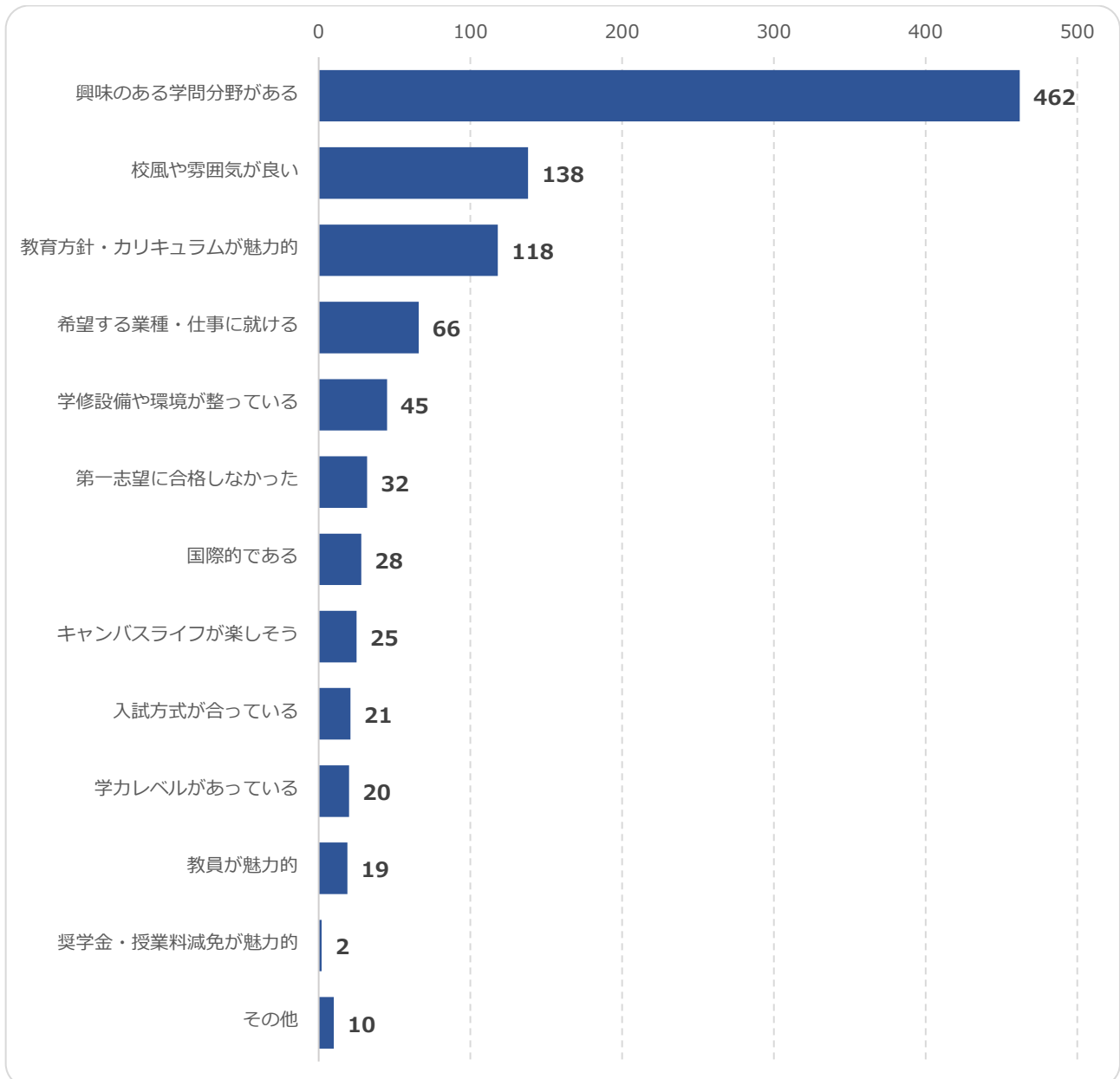


【質問3】 本学に入学した一番の理由を教えてください。

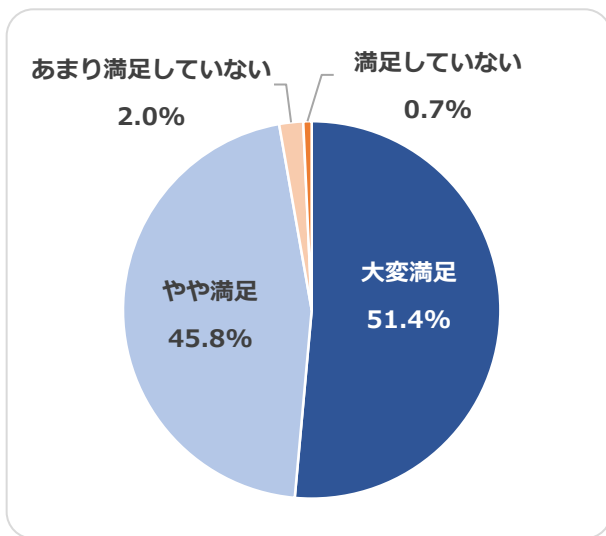
「興味のある学問分野がある」が最も多く、次いで「校風や雰囲気が良い」、「教育方針・カリキュラムが魅力」の順で、昨年度と同様であった。

その他の回答は、

「パンフレットや手紙のデザインセンス」「『表現で世界を変える』がやりたい事を言葉にしたものだった」「自分の力がどんな風に人の役に立つのか知るため」「憧れの人が卒業生だった」などがあった。

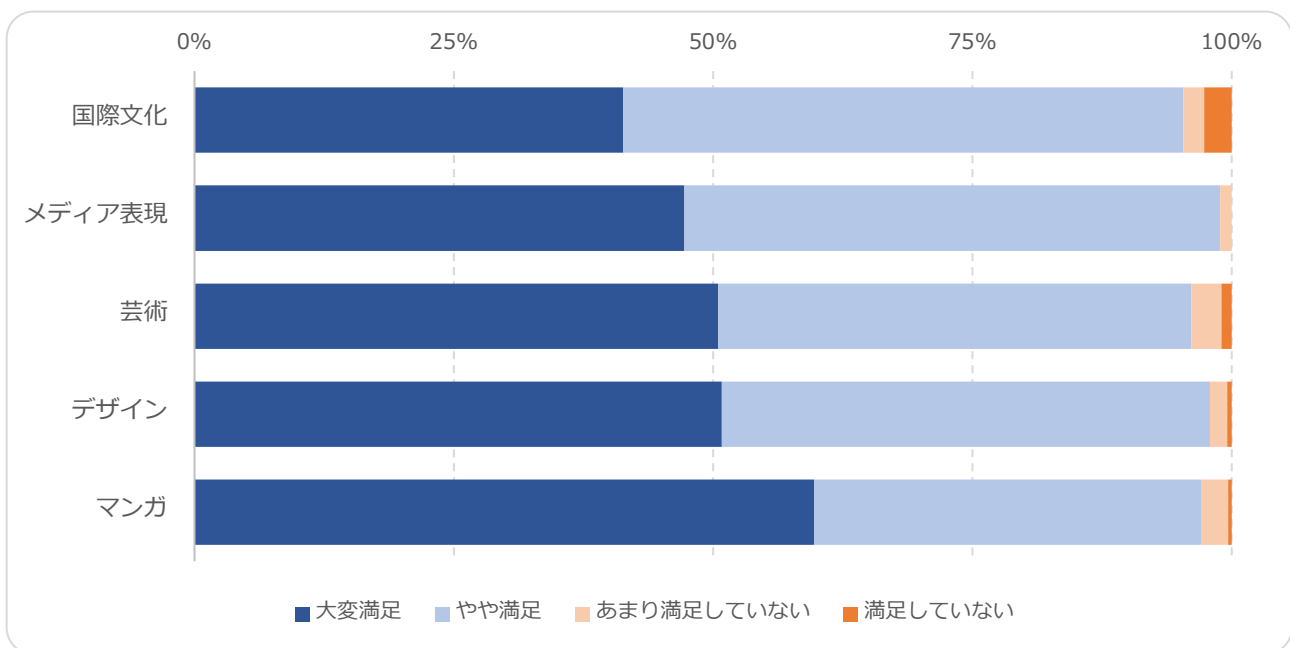


【質問4】 本学に入学し、現在満足していますか。



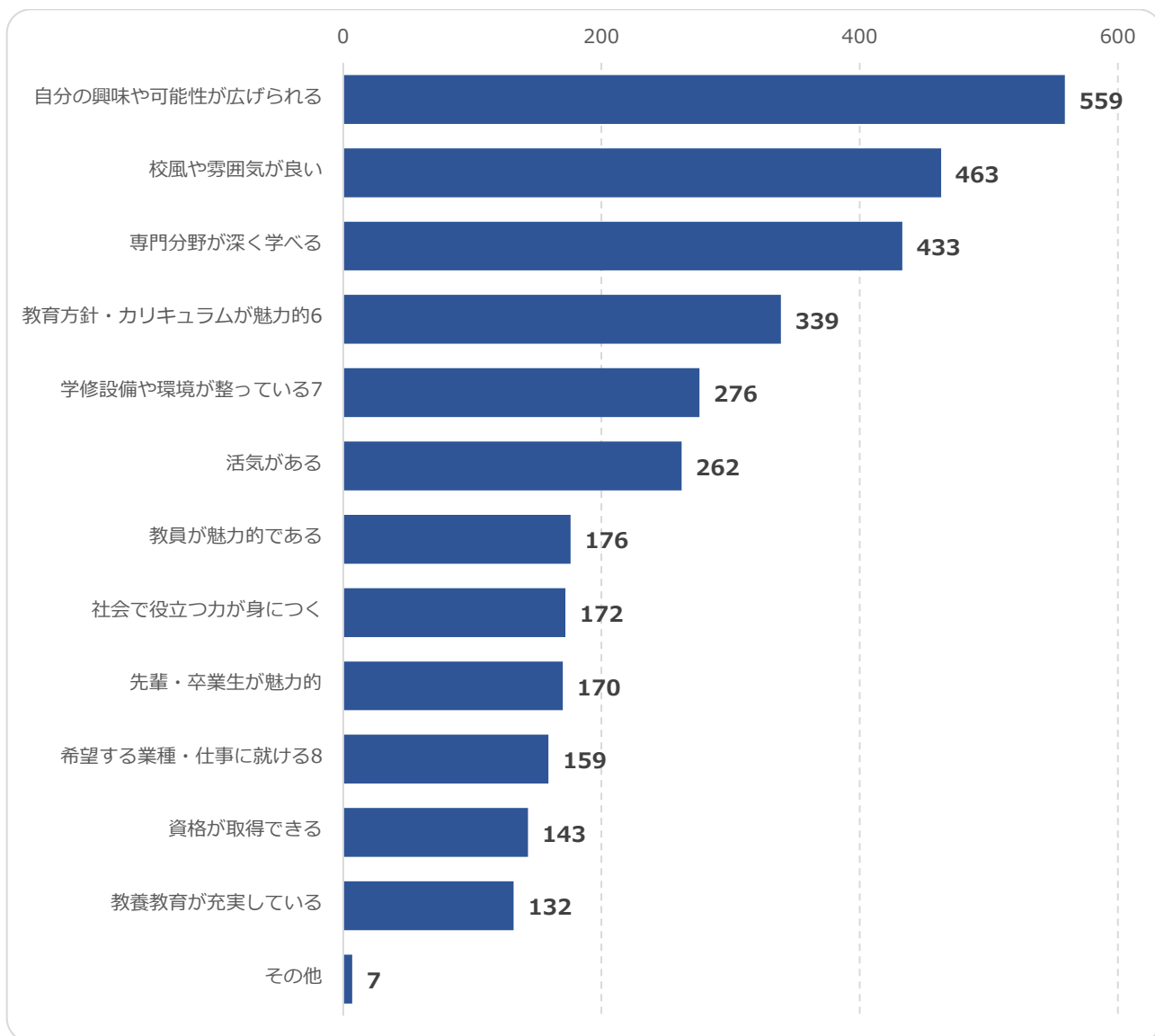
94.9%が「満足」と回答。学部別に見るとすべての学部の満足度が、90%を上回っている。

以下は、学部別回答

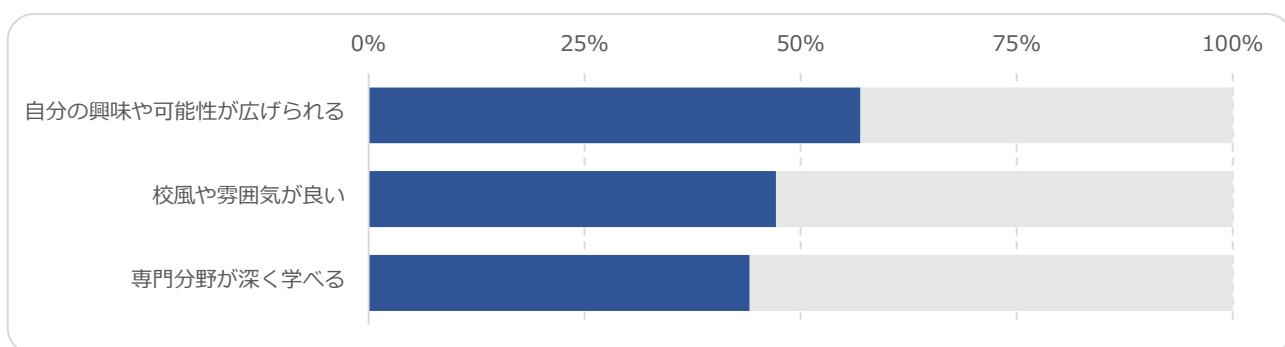


【質問5】 本学にどのようなイメージを持っていますか。（13個まで選択可能）

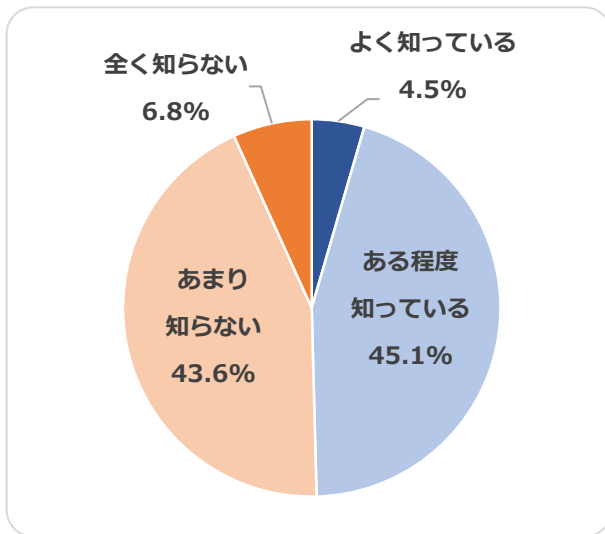
「自分の興味や可能性が上げられる」が最多で、次いで「校風や雰囲気が良い」「専門分野が深く学べる」の順。その他の回答は、「国際色と個性が豊かで、ダイバーシティへの理解や取り組みが進んでいる」「国際的な雰囲気」「自由な雰囲気」などがあつた。



以下は、【質問5】の上位回答の回答者割合

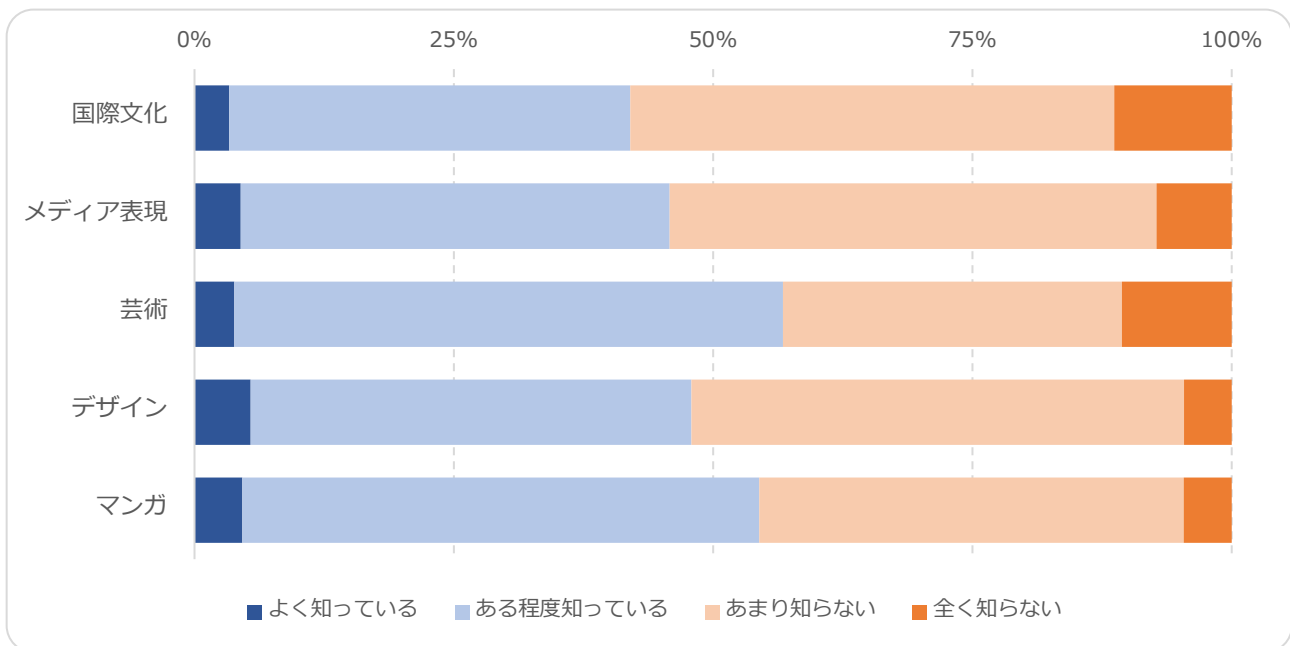


【質問6】 本学の建学の理念や歴史についてどのくらい知っていますか。



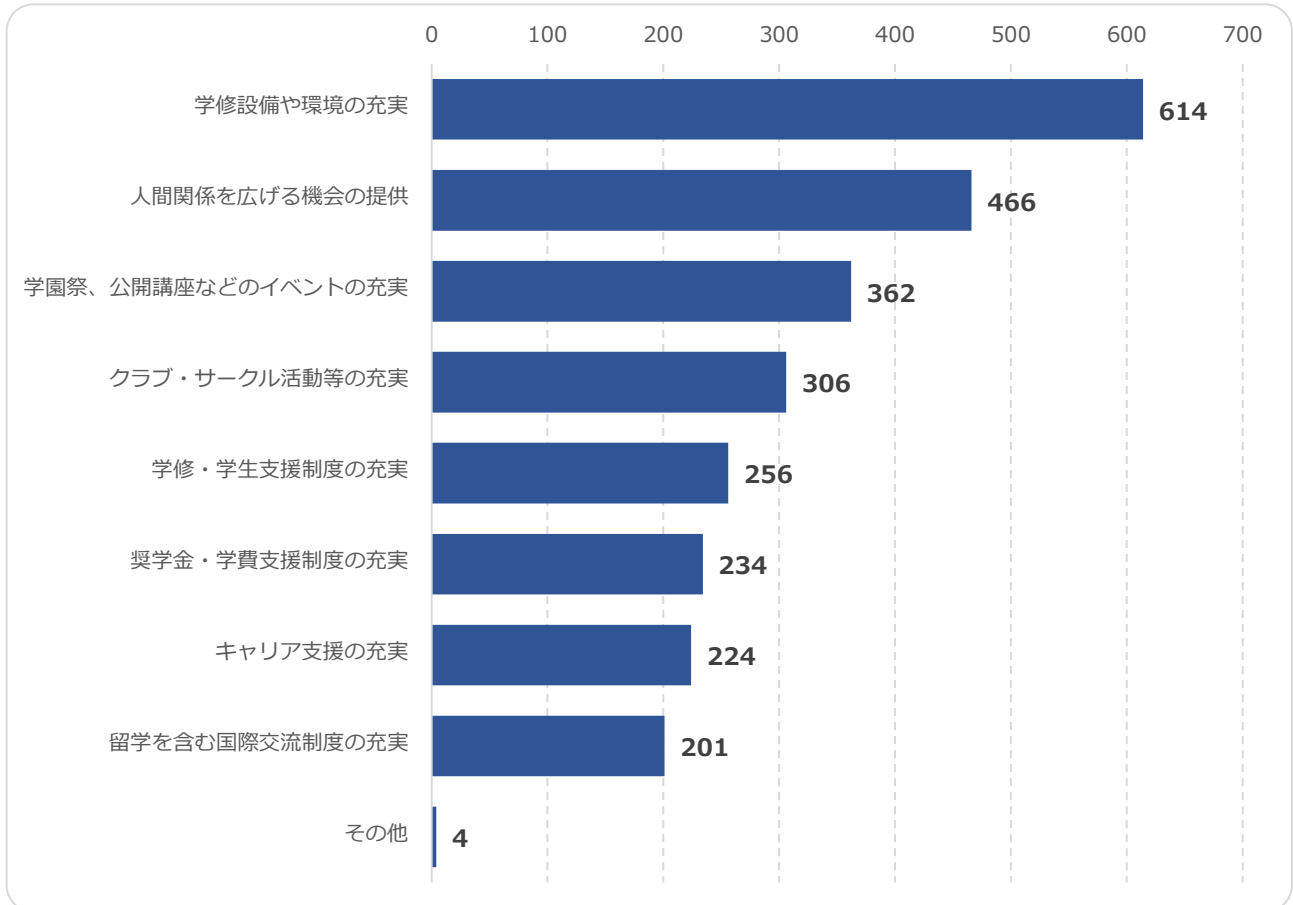
「知っている」と回答した学生は、50.2%であった。

以下は、学部別回答



【質問7】授業以外で大学に期待することは何ですか。（9個まで選択可能）

「学修設備や環境の充実」が最も多く、次いで「人間関係を広げる機会の提供」「学園祭、公開講座などのイベントの充実」の順。

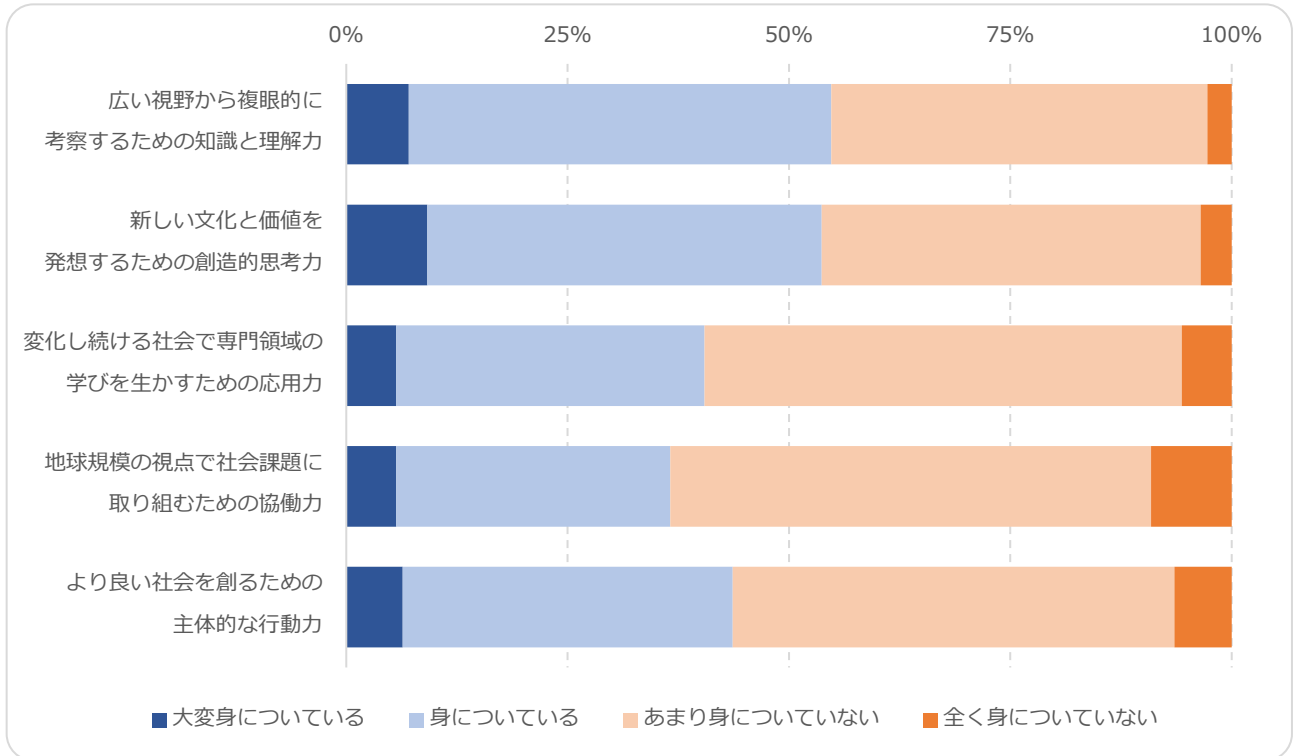


【質問8】自学部・自コースへ期待することは何ですか。（自由記述）

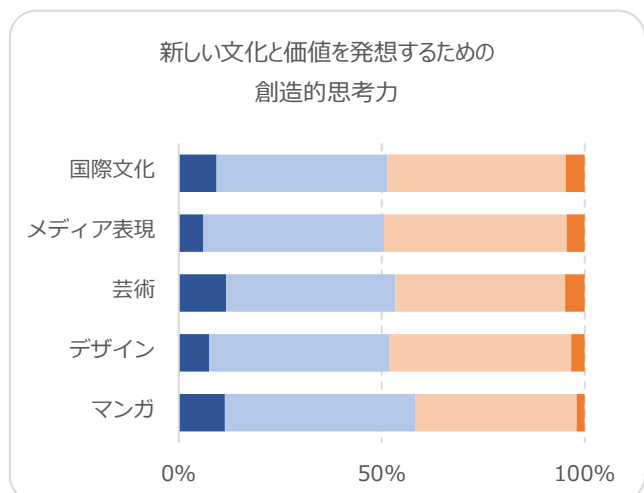
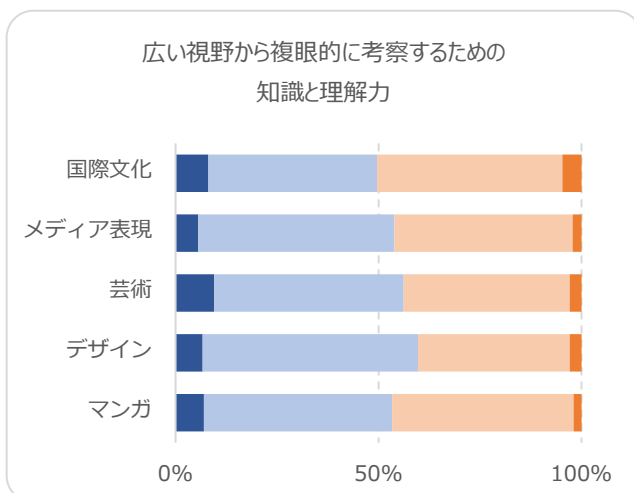
※回答は学内会議にて共有

【質問9】今の自分の能力について教えてください。

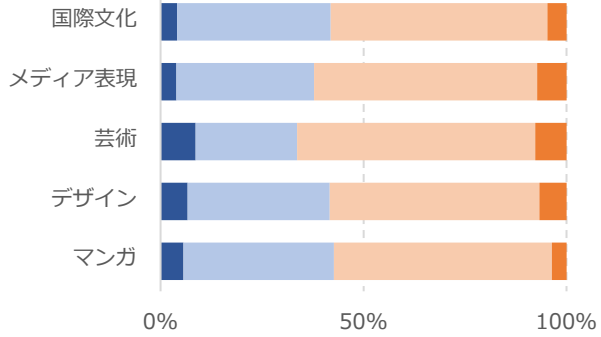
身につけているとの回答は、「広い視野から複眼的に考察するための知識と理解力」が一番多く、次いで「新しい文化と価値を発想するための創造的思考力」であった。



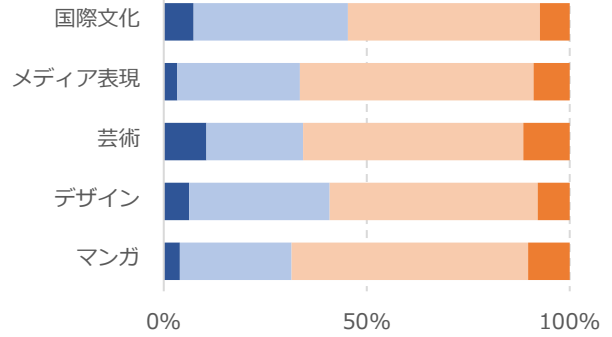
以下は、各項目の学部別回答



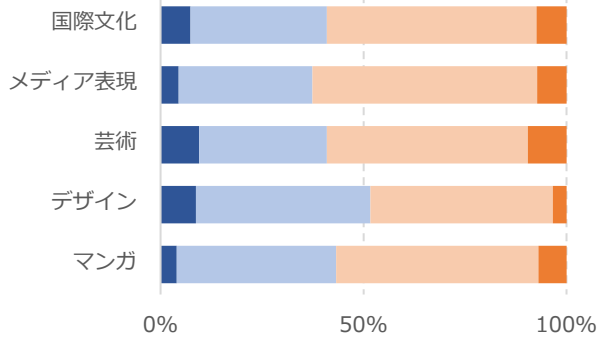
変化し続ける社会で専門領域の
学びを生かすための応用力



地球規模の視点で社会課題に
取り組むための協働力

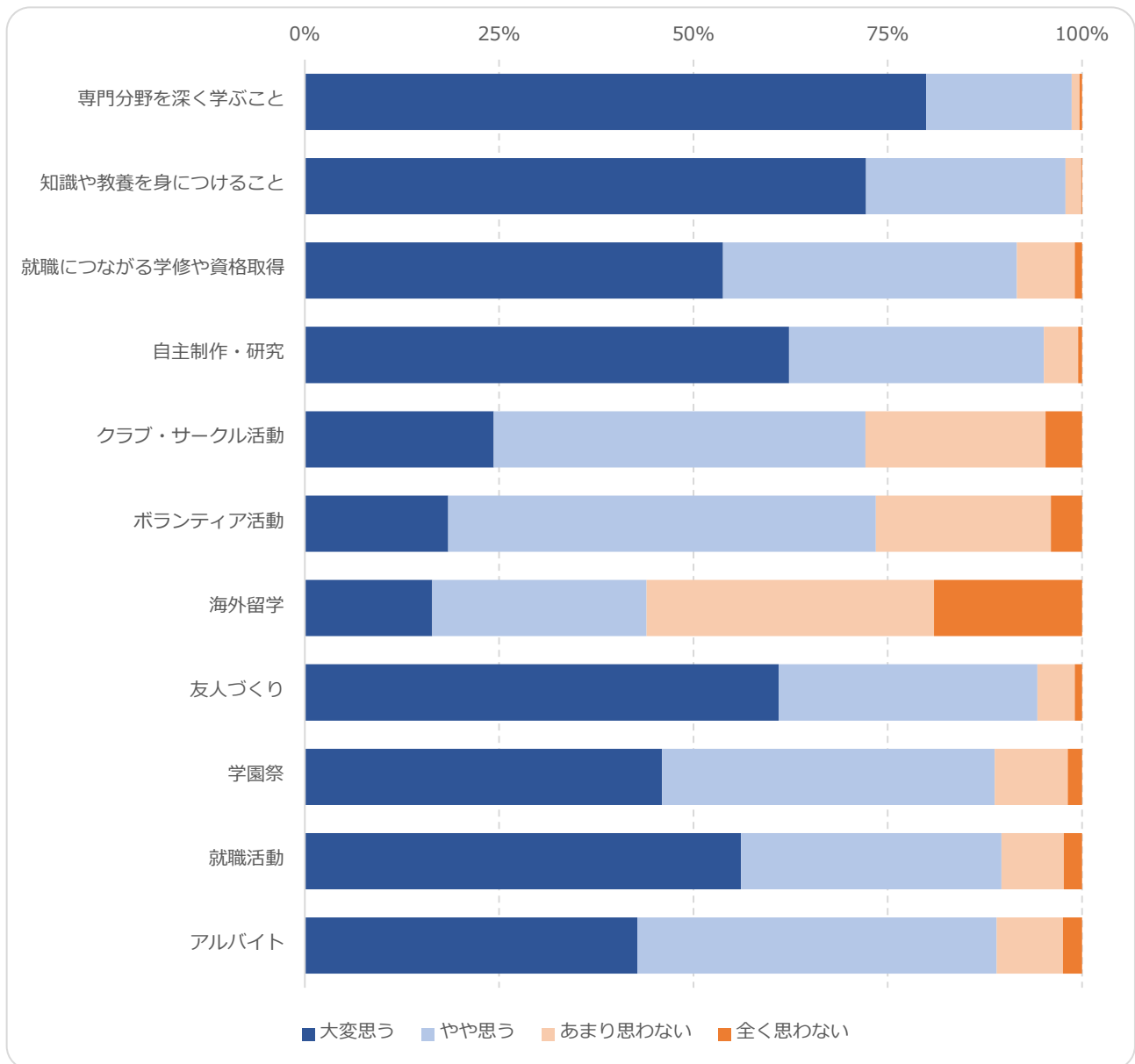


より良い社会を創るための
主体的な行動力

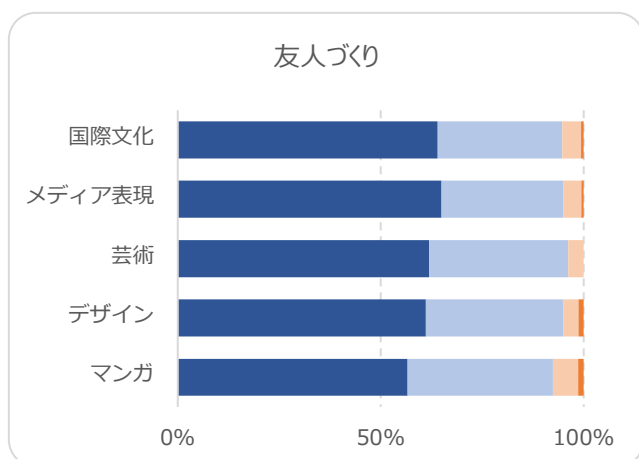
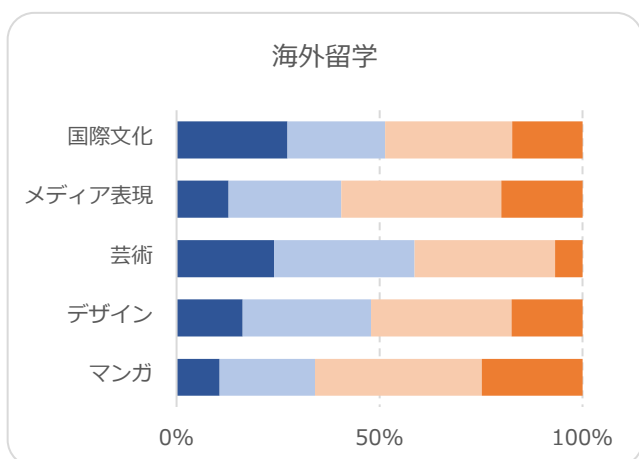
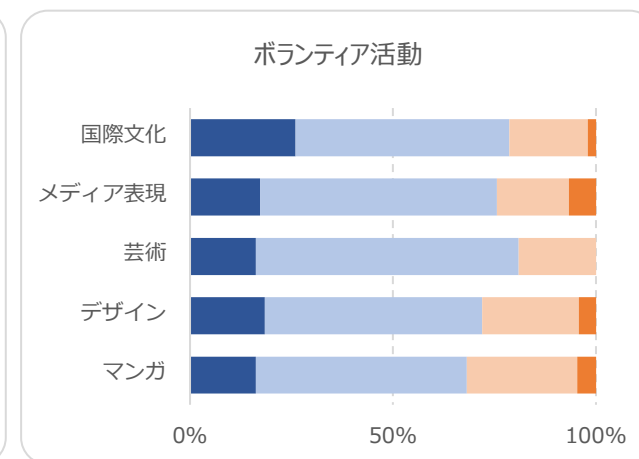
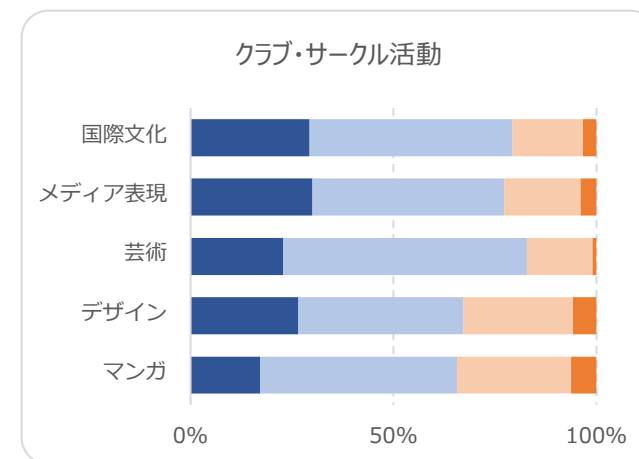
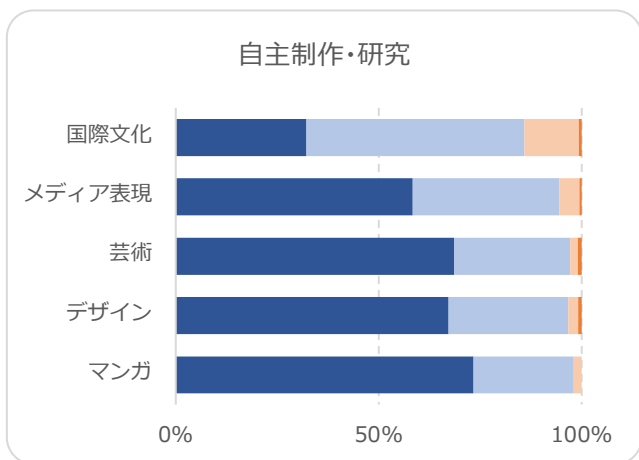
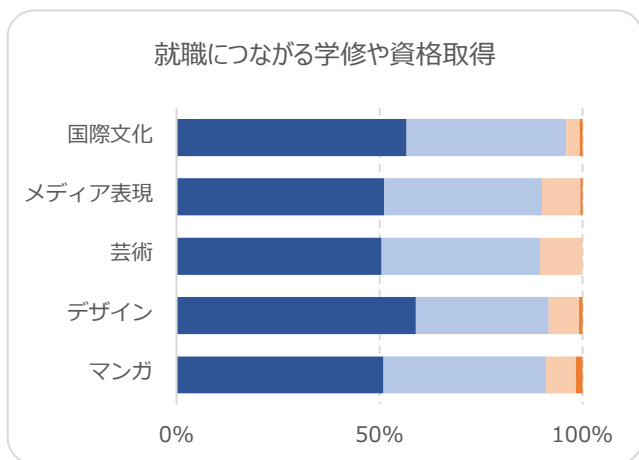
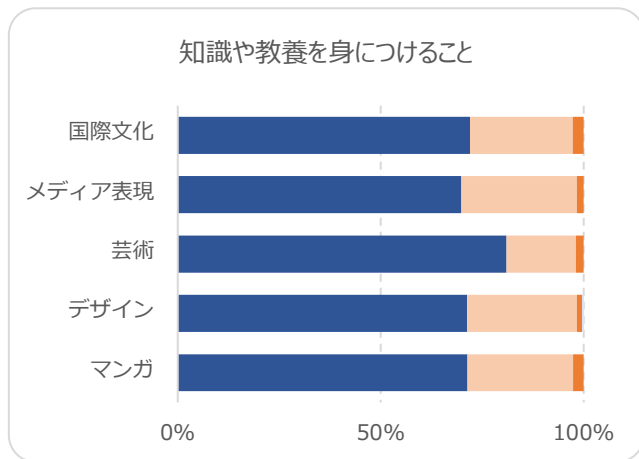
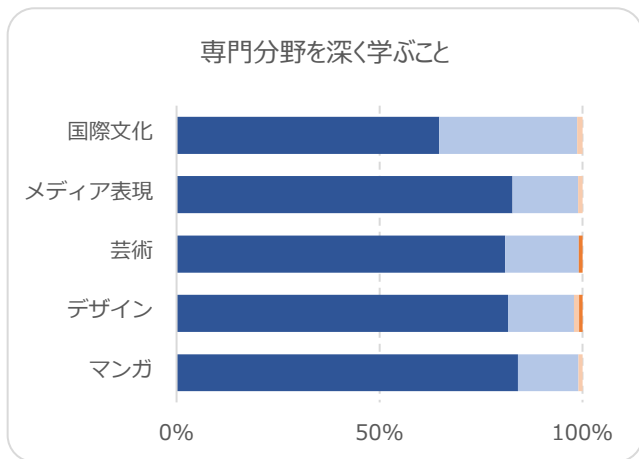


【質問 10】 次の項目について、力を入れたいことについて教えてください。

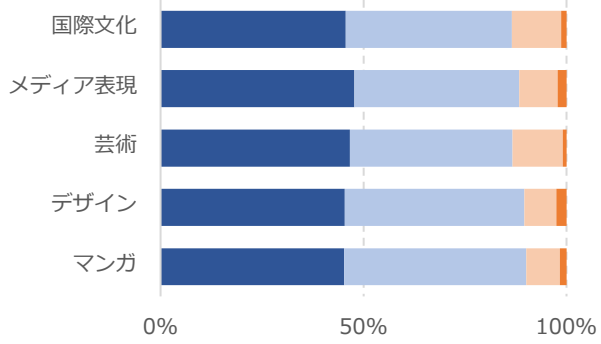
「専門分野を深く学ぶこと」「知識や教養を身につけること」は95%以上とほぼ全員が身につけたいと考えている。「クラブ・サークル活動」「ボランティア活動」「海外留学」については他の項目と比べると低い。



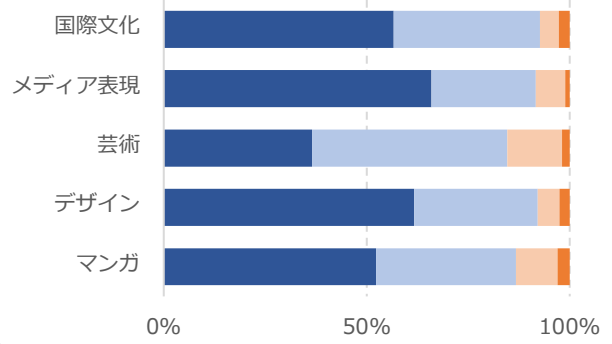
以下は、各項目の学部別回答



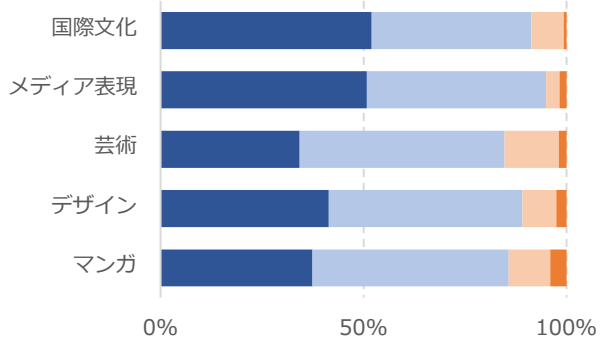
学園祭



就職活動



アルバイト



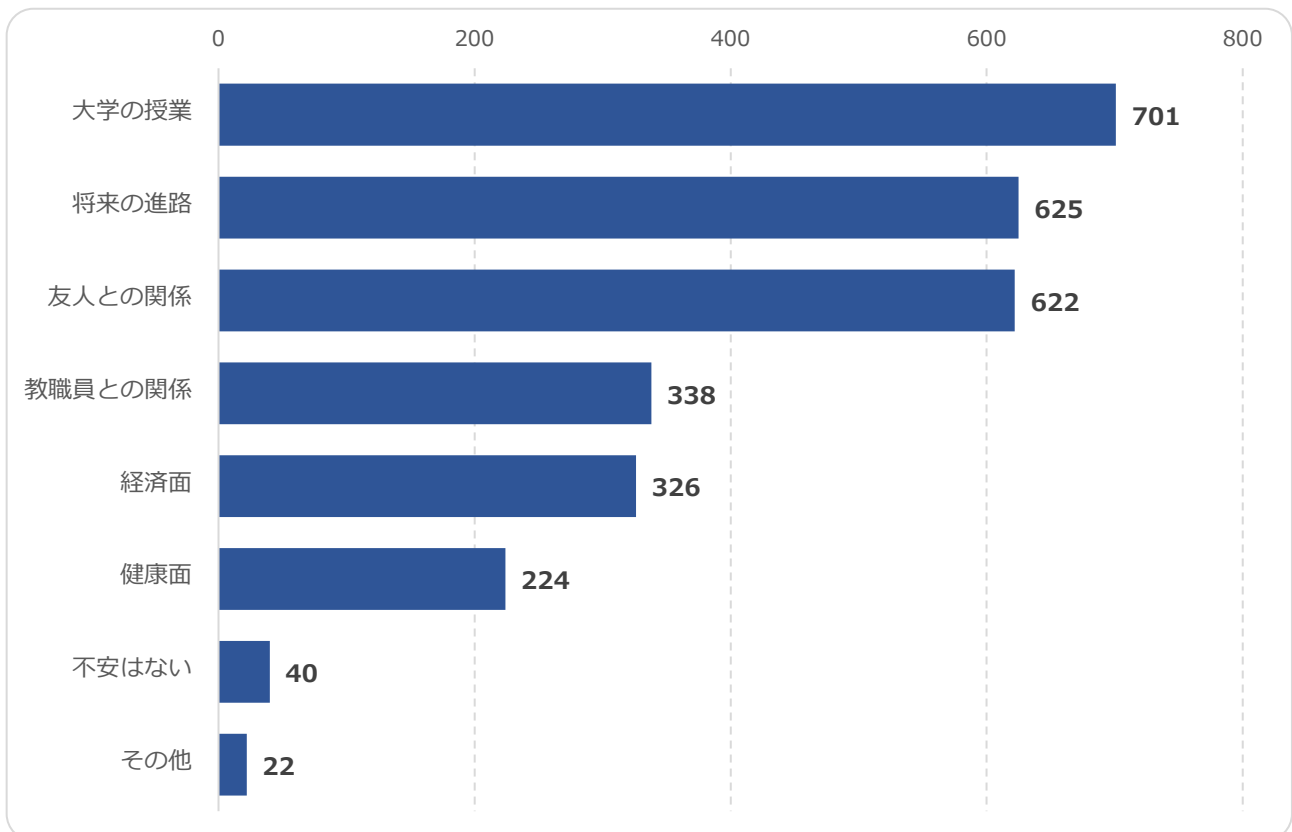
【質問 11】 入学にあたり不安に思っていることを教えてください。

(8 個まで選択可能)

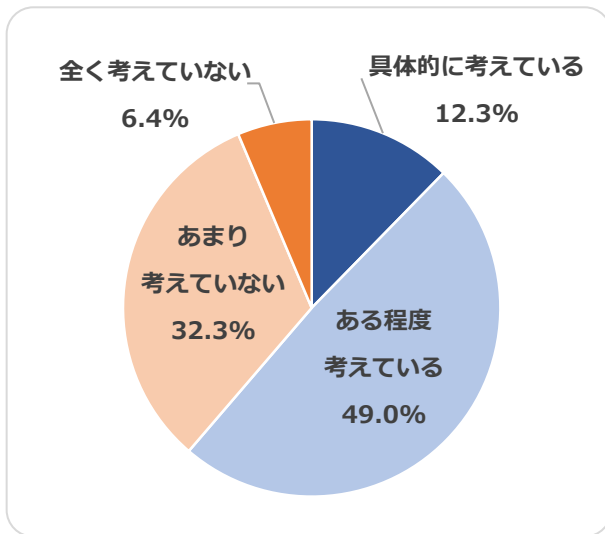
「大学の授業」が最も多く、次いで「将来の進路」「友人との関係」の順。昨年度は、「将来の進路」「大学の授業」「友人との関係」の順であった。

その他の回答は、

「日本語能力」「文化の違い」「画力」「アルバイトとの両立」「精神面」などがあつた。

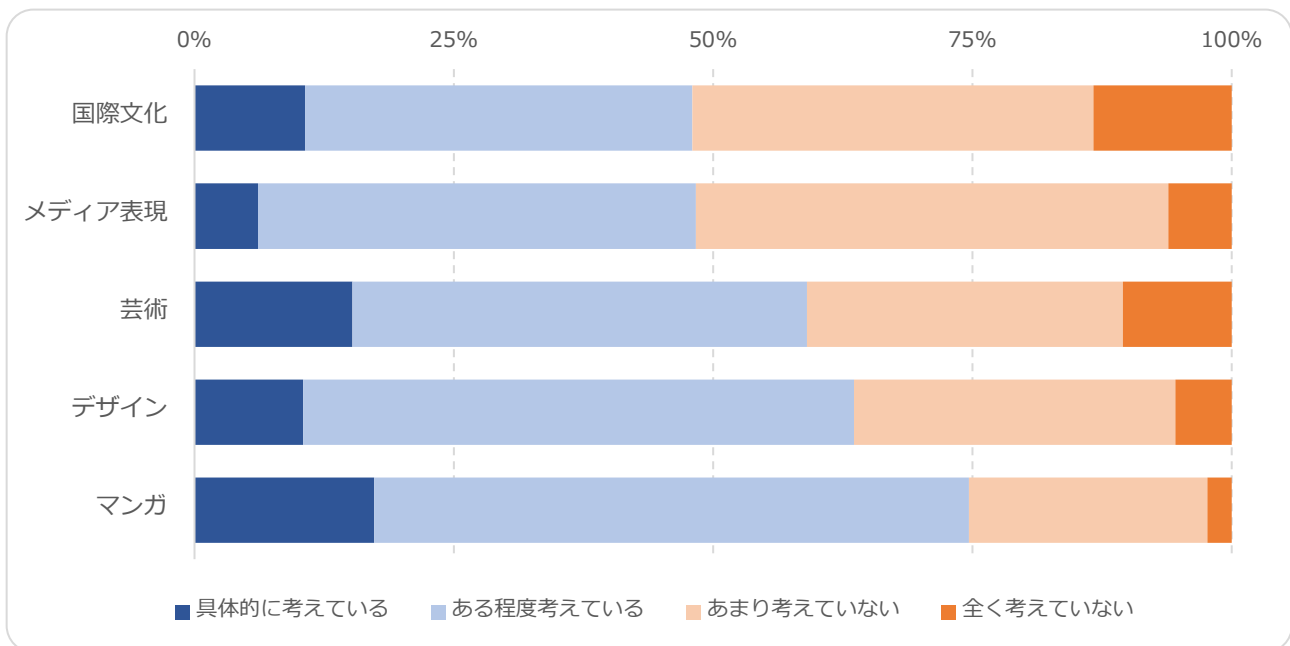


【質問 12】 卒業後の進路について、現在どのくらい考えていますか。



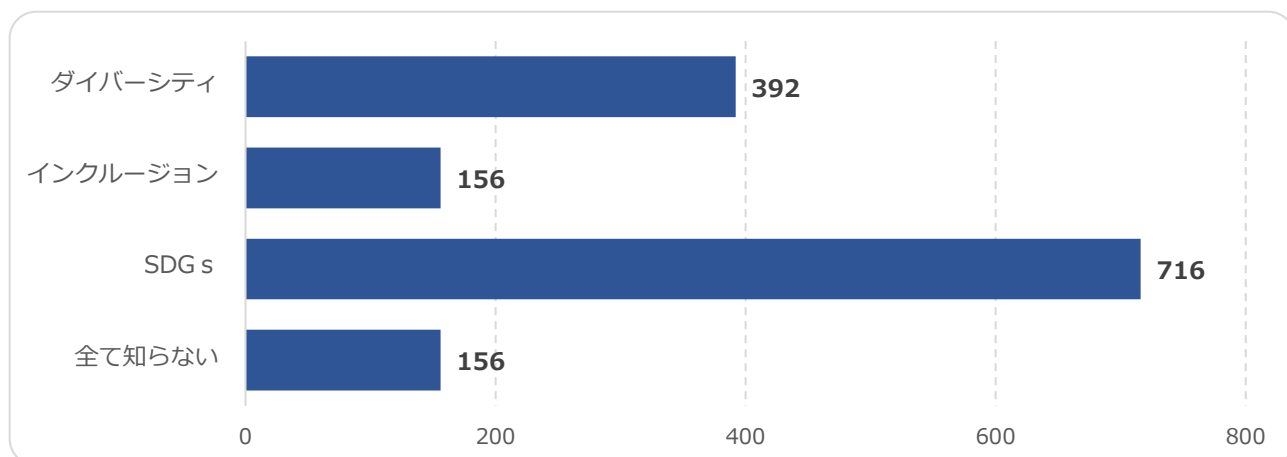
「具体的に考えている」「ある程度考えている」と回答した割合は67%であった。
学部別に見ると、「考えている」と答えた割合が高いのが、マンガ学部で82.2%。低かったのが、国際文化学部で51.5%であった。

以下は、学部別回答



**【質問 13】 以下の言葉のうち、知っているもの全てにチェックを入れてください。
(3 個まで選択可能)**

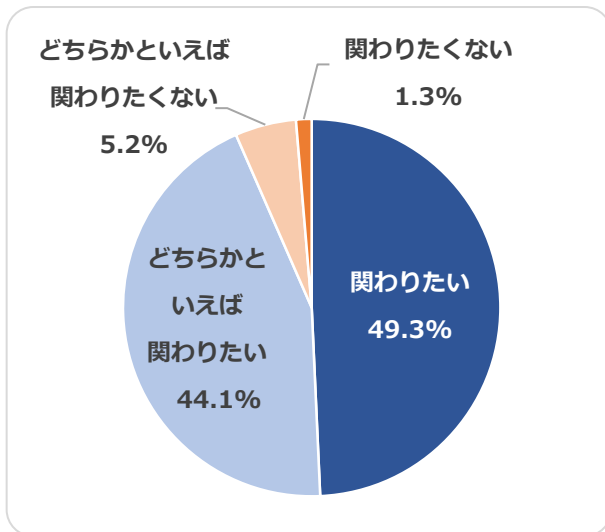
昨年度の「全て知らない」を選択した人が 41.6%に対して、今年度の「全て知らない」を選択した人は 27.3%であった。また、「SDGs」を選択した人は、昨年度 18.3%に対して今年度は 47.7%であった。



※「ダイバーシティ」…多様なバックグラウンドや属性を持つ人が集まること
「インクルージョン」…多様な人々が対等に関わり合うこと
「SDGs」…世界共通の 2030 年までの継続可能な開発目標

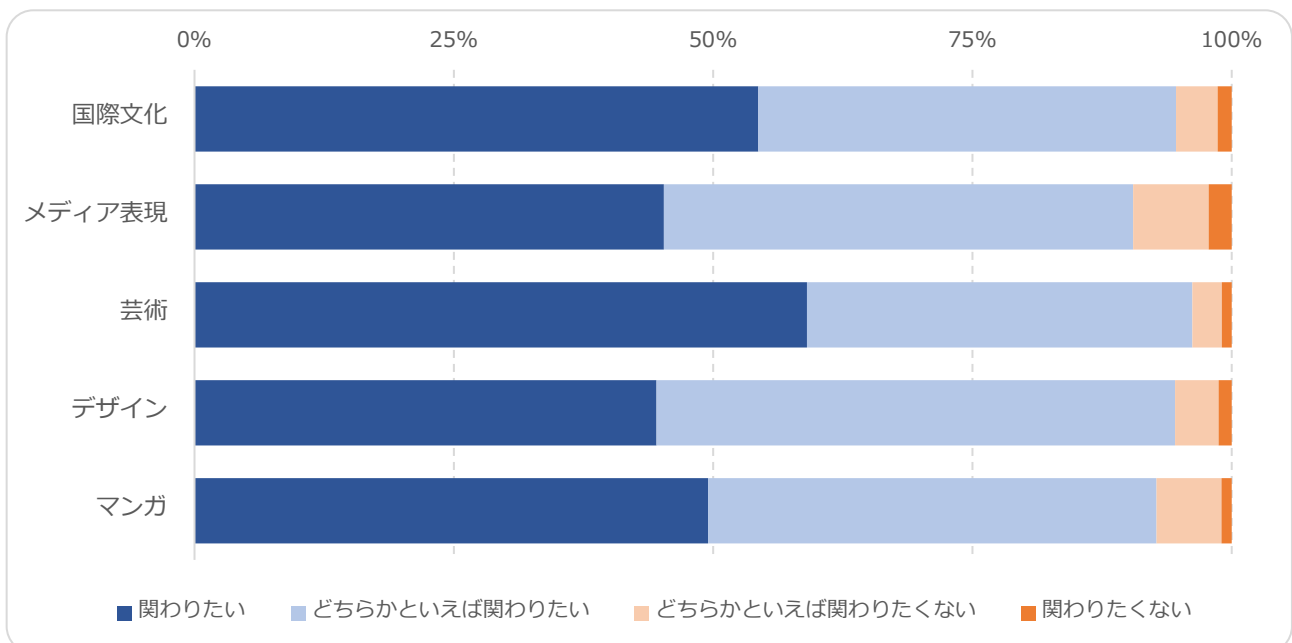
	回答者	構成比
ダイバーシティ	392	39.9%
インクルージョン	156	15.9%
SDGs	716	72.9%
全て知らない	156	15.9%

【質問 14】 自分と異なる文化や価値観、属性（国籍、ジェンダー、宗教など）を持つ人と関わることについて、あなたの感覚と最も近いものを1つ選んでください。

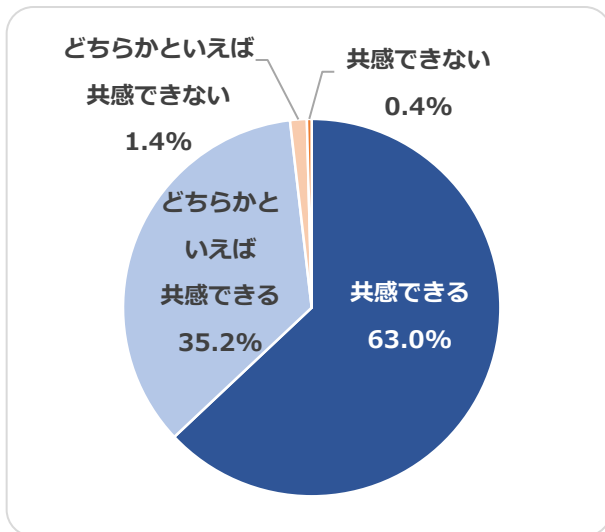


94%が「関わりたい」と回答。

以下は、学部別回答



【質問 15】 京都精華大学が、ダイバーシティ推進の取組を進め、多様な人々が対等に関わり合い、お互いに成長できる場を目指すことについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください



97.9%が「共感できる」と回答。学部別回答を見ても、「共感できる」の回答の割合に大きな差はない。

以下は、学部別回答

